

OJTについて

愛知県総合教育センター

1 OJTとは

OJT (On the Job Training) とは、メンター（経験豊富な教員）が、メンティ（経験の浅い教員）に対して、具体的な仕事を与え、その仕事を通じて教員として必要な知識や技能を習得させる研修の方法です。メンターは、意図的・計画的・継続的にメンティと関わり、力量の向上を目指します。校外での研修や、校内でのeラーニングなどは、OJTとして捉えません。

2 OJT推進が求められている背景

『これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～（答申）』（中教審第184号）や『平成31年度愛知県教員研修計画』では、研修の方法をOJTへと移行していくとしています。実際の仕事を通しての研修となるため、メンティの実態に合った内容にすることができるとともに、特別な時間を設ける必要がないので、多忙化解消にもつながると考えられています。「中堅教諭等資質向上研修（10年経験者研修）」の研修プログラムにおいてもOJTの導入がすでに始まっており、OJTは今後一層職場で推進されていくこととなります。

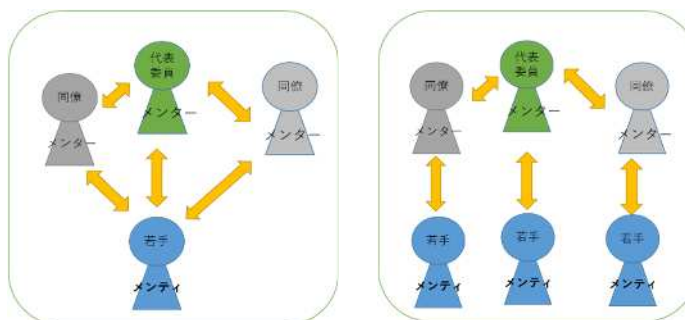
3 「協働共育型ミドルリーダーによるOJTの在り方に関する研究」について

(1) 本研究の概要

当センターでは、自ら校内の課題を見つけ、その課題について同僚と連携して解決を図り、互いの力量を向上させるミドルリーダーのことを、「協働共育型ミドルリーダー」と呼んでいます。本研究では、代表委員をはじめとする中堅層の教員に協働共育型ミドルリーダーの役割を担ってもらい、OJTの実践を行う中で、OJTを円滑に効果的に進めるための条件や要素について明らかにしていくことをねらいとしています。

(2) 本年度の取組

昨年度までの2年間の研究は、代表委員がメンターとなり、複数のメンティを対象にOJTの実践を行いました。最終年度の本年度は、学校組織の活性化を目指して、複数のメンターによるOJTの在り方やその効果について、実践を通して明らかにしていきます（例1、例2）。



例1 代表委員の先生によるOJTに対し、複数人の同僚（ミドルリーダー）をメンターとして加え、協力して取り組むOJT。

例2 他のミドルリーダーによるメンタリングチームをつくり、代表委員が統括するOJT。